

第11回朝倉市民祭

5月14日～15日、朝倉市役所朝倉支所周辺で第11回朝倉市民祭 あさくらにぎわつ祭〜卑弥呼の恵み〜が開催されました。会場では、第34代女王卑弥呼誕生式やA（あさくら）級グルメ料理コンテスト、スポーツ鬼ごっこなどが行われ、多くの人で賑わいました。



▲第33代卑弥呼から第34代卑弥呼（中央）へたすきと王冠が引き継がれました。今年は井上こえださん（左から2人目）と山下真穂さん（左から3人目）が朝倉市を盛り上げます。

初夏を告げる夏の風物詩

原鶴温泉川開き花火大会

筑後川の鮎漁解禁日である5月20日、原鶴温泉川開き温泉祭として花火大会が開催されました。

この日に合わせ、朝倉の夏の風物詩「伝統漁法・鵜飼」も始まります。鵜匠が巧みな手綱さばきで鵜を操り、魚を捕まえると、見物客から歓声が上がりました。

また、川開き花火大会では約3000発の花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。鵜飼船乗船期間は9月末までです。



▲夜空を彩る花火に見物客たちは見入っていました。

この地で50年。感謝をこめて

キリンビール福岡工場創業50周年感謝祭

5月14日、キリンビール福岡工場創業50周年感謝祭が開催されました。キリンビール福岡工場は、旧甘木市時代の1966年に初出荷して以来、豊かな自然に恵まれたこの地で製造を続けてきました。会場では、見て・飲んで・遊べる楽しいイベントがたくさん行われ、キリン花園では1000万本のポピーが色鮮やかな花を咲かせ、訪れたお客さんの顔からは笑顔が溢れていました。



▲工場見学の様子



ソバで地域おこし

松末地区ソバの花開花

5月中旬、杷木松末地区のソバが白い花を咲かせました。

松末地区では、コミュニティが荒廃地の活用と地域活性化の一環として、平成25年からボランティアを募り、ソバの栽培を開始し今年で4年目を迎えました。

松末コミュニティでは、収穫したソバの実を使い、ソバ打ち体験などを行っているほか、ソバ粉を使用した商品を開発・販売しています。

10月には、秋ソバの花が見ごろを迎えます。



▲松末地域のボランティアの皆さんが丹精込めて育てています。



①熱戦展開！スポーツ鬼ごっこ②我こそはと多くの人が集まった歌自慢大会③思い思いの邪馬台国を描いた絵はがきコンクール表彰者たち④会場を盛り上げてくれた韓国・釜慶大学校と秋月の鎧武者の皆さん⑤あさくらの食材を使ったカレーに舌鼓⑥観客を笑顔にする子どもたちのかわいいパフォーマンス⑦みんなで一致団結した小学生五種競技大会⑧高いところから会場を一望！高所作業車試乗体験